

Library Mate

大学図書館機械化の現況と課題

大学図書館運営課長補佐 安達 勉

実践女子大学図書館では、大学図書館と短期大学図書館が所蔵する学術情報を、学内の「どこでも」「だれでも」共有できる学内ネットワークを目指して、機械化を進めてきました。

平成3年9月から図書館事務部に機械化委員会を設け、大学・短大の機械化を検討してきた結果、他館では大型コンピュータに集中して行っている図書館業務処理を当館ではパソコンによって分散処理すること、それらのパソコンを融合させるネットワークを作ることが決まりました。

また、文部省学術情報センターが進めている全国規模の「学術情報ネットワーク」に参加し、目録データ作成とその利用を共同で行い、学術情報の普及に積極的に関わっていくことも基本構想としています。

平成4年3月に、まず大学図書館にパソコン11台とファイルサーバーによるネットワークを作り、外部のデータベースとの情報通信用にNTTのISDN回線を敷設しました。11月には学術情報ネットワークにも加入し、目録データ利用の練習と検討に入りました。

平成5年度は、パソコンネットワーク上で運用する図書館業務ソフトウェアの選定を行い、7月に導入することができました。現在は、来年3月までの予定で、ソフトウェアの処理内容の検討と業務態様の見直しを行い、手作業処理から機械処理に移行する準備を行っています。2月から3月末にかけては、臨時休館して特に

図書整理に全力をあげることになりました。

実践女子大学図書館のシステムは、発注時には必要最小限の入力作業にとどめ、受入と目録作成の段階で、学術情報ネットワークから目録のデータを取り込んで、大学図書館のデータベースを作り、所蔵資料検索や閲覧貸出部門に活用していくというものです。また、学術情報センターから、各館の所蔵データのCD-ROM版が参加館に提供されることも決まったので、ネットワーク上にないパソコンでもCD-ROMで所蔵データを探すことができるようになります。

しかし、このように、パソコンによるネットワークを作り、学術情報ネットワークに参加したことは、図書館機械化の基盤部分にすぎません。閲覧貸出を機械処理したり、利用者が端末で所蔵資料を探すことができるようになるためには、本学の「データベース」の中に、資料の目録データが蓄積されていることが必要です。

平成6年4月から、新たに受け入れる資料のデータ入力を開始し、年間1万冊以上の蓄積を計画しています。また、30万冊の既所蔵資料については、1件ずつ週及入力していく必要があり相当手間がかかるが、全国の大学図書館が所蔵する数百万冊のデータを活用して、できるだけスピードアップを図りたいと思っています。

短大図書館では、まだネットワークができていません。しかし、大学図書館で数年かけて作り上げるシステムを、完成した形で導入することができるので、所蔵資料10万冊のデータベースを構築することは早期にできるのではないのでしょうか。

これからも、より高度な機械化とデータベースの構築及び利用者サービスの実現を目指し、一步一步進めていきます。

英国のクリスマス

英文学科助教授 大関啓子

12月に入り急にあわただしさを覚える頃、海外からのクリスマスカードが届き始める。年賀状と違い、11月の感謝祭 (Thanksgiving Day) を過ぎてクリスマスの前までに届くよう、皆それぞれの思いをこめて送ってくれる。メルボルンからはコアラをあしらった夏姿のサンタクロース、柘とトナカイの絵はオスローから。ダブリンからは毎年アイルランドの自然風景のカレンダーが届く。パリのカードは美しい中世写本の装飾、星条旗のデザインは米国オハイオから。しかし圧倒的に多いのは、昨春まで住んでいた英国ケンブリッジからのものである。英国の国鳥であり、クリスマスの象徴でもある駒鳥 (robin) をあしらったものが多い。海を越えて届いたカードには、友人達からの便りが添えられ、英国でのクリスマスが懐かしく思い出される。

ケンブリッジの町の中心部にある中世以来の市場には、11月末頃になるともみの木やミッスルトーが並んでいた。好みのサイズのツリーを選び、かついで帰る親子連れの様子はほほえましい。長く暗い英国の冬の最中、クリスマスは宗教上の行事ではあるが、人々の心に張りを与えてくれる祭りとして不可欠なものに思える。

クリスマスカードはリボンなどでつなげ、ツリーと共に居間の美しい装飾になる。乳白色の実をつけたミッスルトーの小枝は、日本のしめ飾りのように、入口近くに飾られるが、昔から "kissing under the mistletoe" と言われ、その下にいる女性には誰でもキスが許されることになっているので、女性はご用心！ 実物は日本で見かけないが、英国で長くベストセラーとなっていた Edith Holden の *The Country Diary of an Edwardian Lady* にも、12月の植物として描かれている。クリスマスの飾りは1月6日頃まで置かれ、庭のイルミネーションと共に、道行く人々の目も楽しませてくれる。

飾り付けが終るとクリスマスディナーの準備。万事に計画性のある英国人は、誰を招くだけでなく、同時にその人達との話題や交通についても考える事を忘れない。というのもクリスマ

ス当日と翌日 Boxing Day は国の休日で、一年中でたった一度の事であるが、国内の鉄道・バス・タクシーのほとんどがストップしてしまうため、車のある人同士をうまく組み合わせて招くのである。クリスマスディナーは、イブではなく当日つまり12月25日の昼にとるのが一般的である。しかし私のような独り暮らしの外国人には、あちこちから御招待が殺到し、こちらの予定に合わせて変更してくれた友人も多かった。そのためその年は、クリスマス前後五日間にわたり連続して昼と晩の英国式の極めて甘いクリスマスディナーを頂く事になった。

クリスマスプディングは英国のクリスマスには欠かせない料理である。早い家では一年も前に準備しておく。レシピは莫大な量のドライフルーツと少量の牛脂・ブランデー・卵・牛乳・スパイス等を愛情をこめて混ぜ合せ、冷やした後、何時間もボイルして貯蔵する。最長二年は保存がきくというから驚きである。さらにボイルし直し、柘の葉で飾り、ブランデーをかけて火をつけ、食卓に供される。メインディッシュの後であるが、クリスマスディナーのクライマックスとなる。その家のホストが切り分け、中のコインが当たると幸運に恵まれるという言い伝えがある。Agatha Christie の *The Theft of the Royal Ruby* では、名探偵 Poirot がコインならぬ盗まれたルビーをプディングの中に発見するが、私の場合はほとんど毎日のように幸運のコインが大当りし、友人達の心遣いに感謝した。この後、ミンスパイ (細かく刻んだドライフルーツ入り) やクリスマス用に特別に白く砂糖で固めたケーキ、マザパン (アーモンド菓子) など極甘のデザートが続く。

ディナーの後は、プレゼントを開けてはしゃぎ、例年通りテレビで "Queen's Speech" を家族揃って見る。ちょうど日本の大晦日の「紅白歌合戦」のようなものであろう。1992年は「ひどい一年」と言ったエリザベス女王の今年のスピーチは、果たしていかなるものか。

懐かしく思い出される英国の心暖かく甘いクリスマスである。



ロマン・ロラン作／フランス・マズレール木版画32葉入り

『リリュリ』 1919年 ロマン・ロラン全集 第12巻

美学美術史学科 阿部幸夫

魯迅とロマン・ロランという二人の作家に、フランス・マズレールなる版画家がからむ話になるのだが、二人の文学者はもっと直接に、往復書簡のようなかたちで、さらに反戦の思いをたしかめあう機会を失うことになった小さな事件があった。一九二五年ごろのことになる。

当時、中国からフランスに留学した敬隠漁が『阿Q正伝』を訳してロランが熱心に編集参加した雑誌「ウーロップ」に載せ、ロランがこの小説を激賞した——諷刺に富む現実主義芸術の傑作である、と。さらにロランは魯迅あてに手紙を書き送ったらしい。……らしい、としか書けないのは、中国文壇の実情にうとい敬隠漁が、魯迅の当時の論敵である創造社気付で郵送したため、どうやらどこかで握りつぶされてしまった。その後、この手紙がたどった運命は知る由もない。(近時の研究では、手紙は存在せず、賞めことばだけだったという)

では魯迅から見たロマン・ロラン文学はどうであったろう。第一次世界大戦に反対して外国に亡命したこの作家の良心を、魯迅はわがことのように理解したとほくは思う。フランス大革命を材にした「愛と死のたわむれ」や「戦いを越えて」などロラン作品をしばしばエッセイに引用し、また自身が主宰した文芸雑誌「莽原」でロマン・ロラン特集を組むなど、かなりの傾倒ぶりを示している。もちろん彼自身も35ページにわたる翻訳紹介を担当しているほど。

二人のあいだに入りこむのが版画家フランス・マズレールである。

「ベルギーにはマズレール (Frans Masereel) がいて、ヨーロッパ大戦のとき、ロマン・ロランと同様に戦争に反対して外国に亡命した人である。」(『連環図画』弁護、1932年)
と、この良心的兵役拒否の画家を紹介する。それでは足りずに、ついにはマズレールの版画集四冊を中国語版にして出版までしている。魯

迅の主張は、将来は映画で学生に教えるほうが、教師の講義よりはるかに有効性をもつというのであった。とくに連作版画に目をつけて、ロランがドーミエやゴヤとなぞらえて賞めるマズレールの版画に惹かれていく。

前置きが長くなったが、ではマズレール版画と、それを生かしたロラン作品にどういふものがあったか、戯曲『リリュリ』によって見ていこう。ロラン、1919年の作である。ある日、ロランはかれの寓居をおとずれたマズレールが謙虚で誠実で親切で、しかも自由で寛容で理解力のある精神の持ち主とわかり、すっかり気心を許しあう。その彼にアリストファネス風のギリシャ喜劇を意図した『リリュリ』を読んでさせた。戦争期の、コミックな光景、あるいは自由な皮肉のなかにある粗野、野卑、そして少しばかり非道徳なものをまじえた滑稽さをもつ諷刺のきいた幻想劇仕立てに、マズレールもすっかり魅せられて、32枚の木版挿絵をかいた。

厳密にいうと、これは共作ではない。まずロラン作品があり、それにマズレールの挿絵が加わった豪華本である。ただし、版画はそれなりに自己主張して、互いに補いあっているといつてよい。ドイツ語版の出版を希望するツヴァイクにロランはいった。——私は『ジャン・クリストフ』以上にこの作品を重視しているだけに『リリュリ』の翻訳の試練を怖れます。……ことにマズレールの版画を入れないとすれば——それはじつに遺憾なことです。なぜならその版画は私の作品を世界的な言葉に訳したのですから」(宮本正清、訳者あとがき、より)

ロランとマズレールの、一つの主題に対する異なる芸術ジャンルからの挑戦(協同という名の格闘)が、さらに映画台本『機械の反抗』で試みられたのは2年後のことだった。

(958-R74-12)

ワード・ぷろふえっさー

～図書館用語のミニ解説～

1. 学術情報センター

文部省の大学共同利用機関として設置（1986）され、学術研究情報を迅速かつ的確に研究者に提供することを目的とした「学術情報システム」の構築・運用を推進する機関。

2. 学術情報システム

わが国大学図書館を中心にした図書・雑誌等についての情報を集めたオンライン書誌データベースを維持し、図書館あるいは研究者に対して電算化システムを介してこのデータベースを応用した目録所在情報サービス、情報検索サービスなどを行なうシステム。これにより、大学図書館等が持っている各種資料の全国的な共有を可能とし、学術情報交流の改善を図ろうとするもの。

3. NACSIS-CAT (共同分担目録システム)

オンライン分担目録方式によって総合目録データベースを形成するもの。例えばある図書館でAという図書資料の書誌データを登録すると、同じAを所蔵している他の図書館はこのデータに自館の所蔵を登録していく。いくつもの図書館が初めに登録されたAという本の書誌データに所蔵登録をすることによって総合目録が構築される。一方各図書館でもこのシステムを直接利用しながら各々のデータベースを形成することができる。

4. NACSIS-ILL (図書館間相互貸借システム)

図書館間で実施している文献複写や現物貸借 (Inter Library Loan) のうち、所在調査及び通信・連絡に係る部分をシステム化するもの。NACSIS-CATによって構築された総合目録データベースを参照することによって依頼館を選定する。

5. NACSIS-IR (学術情報センター情報検索サービス)

学術情報センターが登録するいくつものデータベースを一般のパソコンで手軽に検索できるようにしたシステム。国内外の研究論文の中から自分の求めるものを探することができる。また、求めている資料がどこの図書館に所蔵されているかを調べることなどができる。

6. 「情報館」(総)ブレインテック

当図書館で導入し、来年度より稼働予定のパソコン用総合情報管理パッケージソフトウェア。

図書館での資料の発注・受入・目録・貸出しから予実算管理まで、選書を除いた業務全般を対象としている。Net Ware上で動くのが特徴。

●データベースとは

データベースとは、同種の情報を数多く集めて利用しやすくしたもので、情報1件1件をレコードと呼びます。

1つのデータベースは、多くのレコードから構成されています。

また、1つのレコードは、いくつかの項目から構成されています。

「NACSIS-IR 総合マニュアル」より



短期大学図書館

『キッチン』を英語で読んでみませんか

吉本ばなの『キッチン』が翻訳され、全米でベストセラーになった。新聞紙上で目にされた方も多いのではないでしょうか。

日本の小説が英訳された例は、近くでは三島由紀夫をドナルド・キーンが海外へ紹介しているのが有名だが、同時代のしかも若い作家がベストセラーになることなど過去に例がなかったのではないのでしょうか。この若い作家が、言葉のニュアンスの違いを越えて支持されたことの意義、文学の持つ普遍的な言葉の力の意味、同時代性として受け入れられた感性の新しさを、英訳版のなかに思いがけず発見するかも知れない。訳者は Megan Backus という人である。

The place I like best in this world is the kitch-

en. No matter where it is, no matter what kind, if it's a kitchen, if it's a place where they make food, it's fine with me. Ideally it should be well broken in. Lots of tea towels, dry and immaculate. White tile catching the light (ting/ting/).

これは、“Kitchen”の冒頭部分である。あなたならこれにどんな日本語を与えるだろうか。

Kitchen / Banana Yoshimoto; translated from the Japanese by Megan Backus. - New York: Grove Press, 1993.

◎この他にも、今年度のノーベル文学賞受賞者 Toni Morrison の最新作“Jazz”やダイアナ妃、モンロー、JFK、マイケル・ジョーダンの伝記等、話題の書（原書）が一杯だよ！

図書館の仕事〈9〉

環境の整備

図書館環境の整備というと幅の広いものになるので、ここでは書庫に限定して見ることにしましょう。書庫環境を最良に保つためには空調設備が必要で、常に一定の温度と相対湿度を保持していることが理想的な状況だといえます。ところが現実はというと、図書館職員の勤務時間内だけ、集密書庫だけ、貴重書庫だけというのが多いようです。そして貴重書や古典籍は書庫内の鋼鉄製のキャビネットに収められているのが一般的なようです。しかし、これは相当に計算された空調設備を持たない限り無理なようです。温湿度の差が大きくなるとキャビネットに結露が見られるようになり、資料は湿気で使いものにならなくなります。理想的には書庫内の四囲と書架を木製にし、窓は無窓か、高密度のフィルターを取付けた特殊窓による空気の入りが欲しいものです。書庫への入室には専用の履物を使用し、外部からの塵埃が入るのを

防ぐことに留意したいものです。木製品は湿気を吸い、乾燥時は水分を出すというように、湿度の保持には良好な素材です。IFLAの「資料保存の原則」によれば、最も一般的な数値として、書庫内温度16°~21℃、相対湿度は40~60%が望ましいとされています。またアメリカ議会図書館では、1978年からカラーフィルムは1.7℃、相対湿度35%、モノクロ・フィルムは13℃、相対湿度45%で保管に当たっています。「IFLA Professional Reports 8」として『図書館資料の保存と保護のための原則』が1986年4月に刊行されました。これをもとに日本図書館協会から『IFLA 資料保存の原則』（1987年8月刊）が出版されていますので参照するとよいでしょう。

ブック★ストック

—歳書ガイド—

下田歌子資料 3

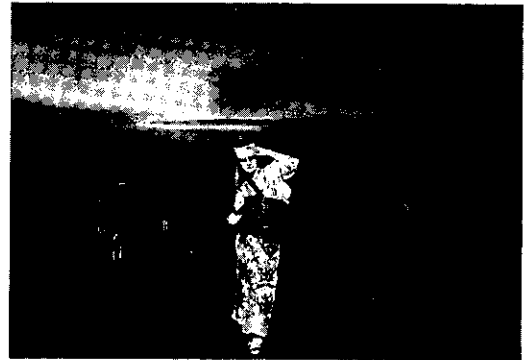
癸卯園遊会関係資料

平成5年4月8日から8月22日まで、『山本芳翠の世界展』が大丸ミュージアム（東京）、丸栄スカイル（名古屋）、郡山市立美術館、岐阜県美術館で開催された。この展覧会に本学図書館下田歌子資料の癸卯園遊会活人画の写真を出陳した。山本芳翠（1850-1906）は美濃国恵那郡明知村の出身、明知村は下田先生の生地岩村の隣村である。芳翠は明治期の洋画家として知られるが、生巧館画学校の教師、報道画家でもあり、また舞台背景の製作を手がけるなどその才能は多方面にわたる。癸卯園遊会活人画の舞台背景を製作したのが芳翠である。展覧会をご覧になった方にはこの資料についてご理解いただけたと思うが、その他この園遊会に関する資料が少しあるので合わせて紹介したい。

癸卯園遊会は、明治36年（癸卯）4月24日、25日の両日午後1時より築地水交社で開催された。当初は3月7日、8日を予定していたが、小松宮殿下薨去のため延期になった。帝国婦人協会附属学校である実践女学校と女子工芸学校は創立以来入学希望者が増加し、学生の収容が困難になり、渋谷の常盤松に校舎を新築することになった。校舎建築の寄附を募るために華族女学校の卒業生たちが発起人となり園遊会を開催、1日目の入場者は2千人近く、2日目も盛況であった。華族の夫人、令嬢が演じた活人画は、日本で最初に本格的に上演されたもので、特に好評であった。この時の収益金5千円の寄付によって校舎は完成した。

癸卯園遊会活人画 活人画とは生きた人間が無言静止の姿勢で、歴史の場面などを演出してみせる劇的余興のことである。活人画12場面の背景は全て芳翠が考案し、製作監督したものである。活人画の写真は2部あり、そのうちの1部に癸卯園遊会趣意書と演奏（上演内容）が残されている。趣意書には園遊会開催の目的が述べ

られ、発起人に岩井新子をはじめ公爵、男爵、子爵の夫人、令嬢など全て女性の名が記されている。活人画は「世々の面かげ」と題し、歴史上の女性をテーマに、上古、藤氏時代というように各時代に分け、1日6場面上演した。演奏によると1日目は橘妙媛、清少納言、松下禪尼、楠公夫人、奥村助右衛門の妻（写真参照）、秋色女、2日目は、大葉子、赤染衛門、尼將軍、伊賀の局、山内一豊の妻、春日局を演じている。写真を見ると背景の絵には遠近法が用いられ、上演者の姿と一体になっている。雪や桜を描いた場面は量感を感じさせる。



癸卯園遊会覚書 坂寄美都子著 園遊会開催までの経過と当日の様子を記したもので、芳翠達が舞台背景を製作している様子や舞台衣装のこと、当日の海軍士官の働きぶりなどが書かれている。

山本芳翠書簡 明治36年9月1日 癸卯園遊会の発起人である伊集院繁子、嘉納須磨子、長田仲子に宛てた書簡で、芳翠は活人画跡式代金千五百円の納入の遅延を申し入れている。当時芳翠はそれ程豊かではなかったようであるが、この遅延の理由は判然としない。

癸卯園遊会決算報告書、目録 園遊会の収益金五千円が寄宿舎建築費として帝国婦人協会に寄付されること、芳翠の活人画の代金千五百円は、芳翠が領収の上寄付されることが記されている。この時建築された寄宿舎は癸卯寮と名付けられた。（大井）

Library Mail

— 収 書 ガ イ ド —

大学図書館

今回のテーマは、「女性」です。最近刊行された女性に関連した和図書の一部を紹介します。

日本における女性 日本思想における重層性
山折哲雄編 名著刊行会 1992. 1

367.21-Y42

女たちと利根川水運 河岸・遊廓・女人信仰
榎本正三著 崙書房 1992. 2 384.6-E63

女性の自立に関する研究 東京都生活文化局婦
人青少年部婦人計画課 1992. 3

367.2136-To46

女性のためのスポーツ医学 目崎登著 金原出
版 1992. 5 780.19-Me71

女性のための食品衛生の実際 西田博著 オ
ム社 1992. 6 498.54-N81

女性労働と保育 母と子の同時保障のために
橋本宏子著 ドメス出版 1992. 9

366.38-H38

女子差別撤廃条約注解 国際女性の地位協会編
尚学社 1992. 9 367.2-Ko51

パリと娼婦たち 1830-1930 ロール・アドレ
ル著 高頭麻子訳 河出書房新社 1992. 9

368.4-Ad2

平安女流文学の研究 針本正行著 桜楓社
1992.11 910.23-H33

知りすぎた女たち ヒッチコック映画とフェミ
ニズム タニア・モドゥレスキー著 加藤幹
郎ほか訳 青土社 1992.11 778.253-H67M

平安朝“元氣印”列伝 『今昔物語』の女たち
山口仲美著 丸善 1992.12 913.37-Y24

中世文学における運命の女神 ハワード・ロリ
ン・パッチ著 黒瀬保ほか訳 三省堂
1993. 1 902.04-P29

中国五千年女性装飾史 周汛、高春明共著 栗
城延江訳 京都書院 1993. 3 383.15-Sh99

女性自身の文学 ブロンテからレッシングまで
E. ショウオールター著 川本静子ほか訳
みすず書房 1993. 3 930.26-Sh5

女性のライフスタイルが社会を変える 生命保

険文化センター編 東洋経済新報社 1993.
4 367.21-Se18

女性差別の社会思想史 安川寿之輔、安川悦子
共著 明石書店 1993. 4 361.6-Y64

宗教のなかの女性史 奥田暁子、岡野治子編著
青弓社 1993. 4 162.1-O54

雑誌文化の中の女性学 諸橋泰樹著 明石書店
1993. 4 051.7-Mo75

22 中世都市の女性たち エーリカ・ウイツ著
高津春久訳 講談社 1993. 5 367.23-Ui3

画家の妻たち 澤地久枝著 文藝春秋 1993.
5 720.28-Sa93

女性の目で見える結婚・家庭・仕事 海外生活通
信員レポート 経済企画庁国民生活局編 大
蔵省印刷局 1993. 5 367.2-Ke29

短期大学図書館

Agatha Christie 購入。あなたもポアロに!

The ABC murders. 823.9-C55A

And then there were none. 823.9-C55At

The big four. 823.9-C55B

The body in the library. 823.9-C55Bi

The clocks. 823.9-C55C

Crooked house. 823.9-C55Ch

Death in the clouds. 823.9-C55Di

Death on the Nile. 823.9-C55Do

The mystery of the blue train. 823.9-C55M

The mysterious affair at Styles. 823.9-C55Ma

A murder is announced. 823.9-C55Mi

Murder on Orient Express. 823.9-C55Mo

The murder of Roger Ackroyd. 823.9-C55Mr

One, two, buckle my shoe. 823.9-C55O

Peril at end house. 823.9-C55P

The Sittaford mystery. 823.9-C55Sm

Three act tragedy. 823.9-C55Ta

Towards zero. 823.9-C55Tz

※※※いんふお-め-しょん※※※

1993年12月～1994年3月

大学図書館

特別貸出

冬休み

期間：12/13(月)～1/7(金)

返却日：1/14(金)

冊数：図書 5冊

春休み

期間：2/1(火)～3/19(土)

返却日：4/8(金) ※卒業予定者 3/18(金)

冊数：図書 5冊

冬休み中の開館

開館日 12/21(火)、22(水)、24(金)

1/6(木)、7(金)

時間 9:00～16:00

試験期の開館

1/12(水)～2/2(水) 開館時間延長

月～金 9:00～18:45 (土) 9:00～16:00

試験期の貸出

1/11(火)～1/14(金) 3日間貸出

1/17(月)～1/31(月) 1日貸出

試験終了後の開館

2月 2/3(木)～4(金) 9:00～18:00

※2/5(土)～11(金) 入試のため閉館

2/12(土)、14(月)～16(水) 9:00～16:00

00

※以後機械化推進のため閉館

3月 3/17(木)～19(土) 9:00～16:00

※詳細や変更は掲示にてお知らせします。

短期大学図書館

特別貸出

冬休み

期間：12/13(月)～24(金)

返却日：1/14(金)

冊数：図書 5冊

※雑誌/カセットテープ/ビデオは20(月)～

春休み

期間：2/1(火)～3/19(土)

返却日：4/8(金) ※卒業予定者 3/19(土)

冊数：図書 5冊

冬休み中の開館

開館日 12/21(火)、22(水)、24(金)

時間 9:00～16:00

試験期の開館

1/11(火)～31(月) 開館時間延長

月～金 9:00～17:45 (土) 9:00～16:00

試験期の貸出

1/11(火)～14(金) 3日間貸出

1/17(月)～31(月) 1日貸出

試験終了後の開館

2月 2/3(木)～4(金) 9:00～16:15

※以後、入試・蔵書点検のため閉館

3月 3/16(水)～19(土) 9:00～16:00

※詳細や変更は掲示にてお知らせします。

平成5年度(第79回)全国図書館大会が、北海道札幌市で開催されました。第4分科会 短大・高専図書館の視聴覚資料と著作権において短大図書館の谷合美千子司書が「『AVセンターシステム』による視聴覚サービス」と題して事発発表を行いました。

10月1日付で、図書館事務部の奥島尚樹司書が計算センターへ、大学事務部学務課から水ノ

ノ野陽一郎書記が図書館事務部へと、人事移動がありました。

Library Mate 第11号 1993年12月

発行所 実践女子大学図書館
東京都日野市大坂上4-1-1
実践女子短期大学図書館
東京都日野市神明1-13-1

発行責任者 三隅治雄